

会議報告書

会議名	第1回消防委員会
日 時	令和7年10月2日(木) 午後6時00分～7時00分
会議場所	防災センター2階
出席者	消防委員 6人 市長 総務部長 団長 事務局(地域防災課職員) 3人
議題 及び内容	<p>司会 事務局</p> <p>市長から委員に委嘱状を渡す</p> <p>1 開会</p> <p>2 挨拶 市長挨拶</p> <p>3 委員紹介 順番に自己紹介</p> <p>4 会長選出及び会長職務代理者の指定 会長選出(推薦)、会長職務代理者選出(会長指名)</p> <p>会長、会長職務代理者の挨拶</p> <p>【会長】 消防団としてより良い活動環境となるよう、話し合っていきたいと思います。よろしく お願いします。</p> <p>【会長職務代理者】 前回の職務代理に引き続き、団のためとなるよう努めさせていただきます。</p> <p>5 質問事項(別紙質問参照) 市長が質問文書を読み上げ、会長が市長の前に移動し受け取る。</p> <p><市長退席後、席の移動></p> <p>6 審議</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">審議内容は別紙審議質疑のとおり</p> <p>7 その他 次回委員会は 11月 10 日(月)18 時からに決定</p> <p>8 閉会</p>

6 審議

- ・委員会招集の経緯と審議及び答申までの流れを説明(事務局)
- ・配布資料について説明(事務局)
- ・現役団員の統廃合の意向について説明(団長)

会長

ただいま説明いただきました資料や現役団員の意向を参考に、ご意見があればお願ひします。

事務局

各分団からの意見について説明 4分団の結論を待っている。

委員

4分団が正副分団長を交えて一生懸命検討しているということですが、4分団の結果を踏まえてでないと、次に委員会を開いても意味がないのではないか。今日の時点で、こうしたらしいなど言えないのではないかというのが率直な意見です。

事務局

4分団には話し合いを急いでもらっています。

委員

町内会・自治会からプッシュしてもらってこの状態というのは昔からそうであって、逆に自治会に入っている身として出せる状況はない。それぞれが一本釣りで何回も行って団員になつてもらっているという状況は以前からで、もっともっと厳しいというのが今の現状だと思います。現状、詰所から車が出せていない状況があるのであれば、団員の中で統廃合しようと口火を切れる方は中々いないと思うので、ある程度、委員会で物理的に団としてどこまでのエリアをカバーできるのかとか、消防車が何台必要なかということをシステム的に考えていかないと、今後大変になってしまうと思います。

委員

現役団員の気持ちを最優先しなければいけないと思っています。ただ、市として消防団に対して有事の際に防災力をどこまで維持できるのかと考えていった場合に、地理的、人数的に考えて定員について考える必要がある。また、機能別団員が増えている流れがあるが、できるだけ若い人が入ってもらえる仕組みを考えていかなければいけないと思います。

委員

消防団の問題は都内だけではなく、全国的なもので難しい問題であり特効薬はないと思います。そういう中で募集していくということですが、消防職員も難しい状況の中でボランティア的な団の皆さんをさらに増やすのはさらに難しいというのが現実問題としてあります。そういう中で統廃合や定年延長は、避けて通れない部分であるのかなという認識です。

会長職務代理者

一番考えなければいけないのは現役団員がどうしたいのかだと思います。各分団の意見で勧誘活動を行いながら、活動を継続していくということは大事なこと。私が現役の時に、市内のホームや施設に勤めている方に対して、防災訓練などをきっかけに勧誘をしていたらどうかという話をしていたが、コロナ禍となりできなくなってしまったということがあった。各分団の勧誘活動もこういったところを攻めていただくのもいいと思います。

現状、団員数に対して実働部隊が少なく、負担金の面だったりで市に負担をかけてはいけない部分があるので、ある程度のところで統廃合をこちらサイドからしなくてはいけないと感じています。団としてこのようにしていきたいというのを明確にしてもらうと、委員もそれに対して意見がしやすい。

会長

出初式は屋内で実施するようになっていることや、操法大会の出場隊が少なくなっている現状を踏まえると、今までの数は時代にマッチしていないと感じる部分がある。今まで同様のことができなくなったのであれば、という考えはあります。

委員

消防委員会として充足率が何%をきいたら統廃合の対象となるというような指針が必要ではないか。操法大会に関しては、例えば50%をきっているから出なくていいというやり方もあるが、火事があった時に操法の経験がないと活動が難しいので、合同隊など分団でしぶって出すなど、こういったところまで分団には話しこんでもらいたい。

事務局

線引きのラインとしては、前回消防委員会にて40%をきいたら統廃合の検討対象になるとされています。現状では、2分団2部、4分団2・4・5部、7分団が40%をきっているが、ここをきいたら絶対に統廃合するという結論出しをしていない状況であり、この線引きの状況を分団に情報提供して今回検討してもらっています。

委員

6・7分団において在住の方はほとんど入ってもらっていると思いますし、山も背負っていて火災の際は消防団OBなどが最先着して活動するという特殊事情があると思います。4・5分団までの町場との線引きは別になってくるということを考えなければならない。

委員

分団自体の組み替えを改めて考えるイメージでないと難しいのではないか。そもそも団員50人のスキームで考えている割り振りである中で、人数がかなり下回ってしまっているので無理がある。秋川市があきる野市になった時のように、各分団でどのくらいの人数が必要なのかを出してみて、それを現状とあわせてどうなのが考えるのが良いのではないか。

会長

分団の数というのは、五日市と秋川の数を合わせただけなので、考え直す良い機会になっているのかなと思います。30年経っている。

委員

市として考えた時に、地理的に万遍なく消防団が網羅されるような形を考えなければいけないと思う。ポンプ車隊18人、可搬隊12人の定員という状況が、近隣自治体とくらべてどうなのかというのがわかれれば、次回委員会で参考にさせていただきたいと思います。出動エリアが網羅できる体制が作れるのかどうかを考えた時に、例えば4分団本部と1部を残すと言うことを考えた時に、対岸の網代はどうするのかということを複合的に考える必要がある。新たに詰所を作るのは難しいと思うが。

委員

全域的・総合的に考えて、例えば秋川南岸自治会の網代・高尾・留原・小和田において、網代は増戸地区ではあるが留原の5-4に統廃合してしまうなど行政区の線引きを見直すということを機材配置も考えて、部の統廃合をやっていくというのも検討課題ではないかと考えます。

会長

今日出た意見を団に持ち帰って検討してもらうことで、また新しい意見が出るかもしれない。

事務局

4分団の意見については、10月17日の幹部会議を目途に出してもらうこととしています。また、出動範囲の再検討についても各分団に投げかけていまして、幹部会議を目途に提出してもらうこととなっているので、取りまとめ後に委員会に上げさせていただきたいと思っています。

委員

市で考える有事の時にどのくらいの人数が必要なのかをはじいてもらいたい。それで現状との乖離がどのようにになっているのか確認させてもらうと分かりやすいのではないか。

総務部長

視点をどこに置くかで考え方が変わってくると思います。既存の詰所は動かしようがないので、エリアの話になると、あきる野は山間部があり地形上特殊な部分があり、出動範囲を輪っかで表示する時に地域によって大きさが変わってくる可能性がある。私も経験があるのですが、火災の時に人が集まってこなくて車が出せないといった場合に、車を出す人数は最低何人必要なのかというのは事務局で考えているものがあり、できるかできないかは別だが最低ラインとして持っていなければならない。色んな視点から考えていく、目的は火を消すこと。色んな思いはある中でも現実的な視点を持ちつつ、総合的に考えていく必要がある。皆さんの意見の中で課題もあると思いますが、まずは4分団の状況を確認させていただき、大きなエリアから考えるのか、今あるエリアの中をまとめてから次の段階に進むのかを含めて考えていくということを、事務局の方でやらせていただければと思います。

委員

応援区域でなくても出ますからね。要請がかかれば。出たこともありますし。この番地だったらこの詰所といったように決めておくと良いのではないか。

会長

エリアに関しては団で考えることですね。

委員

あきる野は出動範囲はしっかりと決まっている中で、事務局にお願いになってしまふかもしれないが、他市町村はどのような出動をしているのか確認してみたい。

委員

福生、狛江、小金井は全域で出動している。

委員

例えば人数がいなくて出動できないといったときに、出動対象の分団を増やすといったことを考えていく必要もあるのではないか。

委員

それができれば、団員数は少なくとも済むんですよね。

委員

できるかどうかは、現役の皆さんのお見を聞かないとわからないことですが、出動範囲を広域的に考える必要性があるのではないかと考えます。

事務局

現在、各分団にどこまで出られるのかを確認しています。分団が懸念している重火災の時の対応等も含めての確認となります。

委員

そういう時に点検で回っていない地区だと、どこに部署したらいいのかわからないということもありますね。やり方も変えないといけませんね。

事務局

め組というアプリがあり、アプリ内の地図上に水利は表示されますが、登録している団員が多くないという現状もあります。GPSで出場団員の現在地を確認することもできます。

委員

位置は表示されるが、とば口まではわからない。可搬だったら行けるがポンプ車だと行けないなど。

会長職務代理者

条例定数に対して実団員が少ないと、財政に負担がかかりますよね。

委員

保険は全員にかけますよね。

会長

このへんで、本日のまとめに入らせていただきたいと思います。

分団の統廃合については、今度の幹部会議等で意見をいただきながら、今日色々意見が出たものは次回に生かしていきたいと思います。

このことにつきましては、次回の会議で再度確認し、消防団用の意見も伺い、委員会の意見として取りまとめていきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

会長

ありがとうございます。今日の内容につきましては、お気づきの点がありましたら、次回、ご意見いただければと思います。制度などで、ご不明な点がありましたら事務局にお尋ね下さい。また、次回からは、進行状況により、定員の削減についても審議をしていきたいと思いますので、よろしくお願いいいたします。

本日の議事進行に、ご協力いただきありがとうございました。次回もよろしくお願いいいたします。